

伊勢湾貧酸素情報（第 4 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

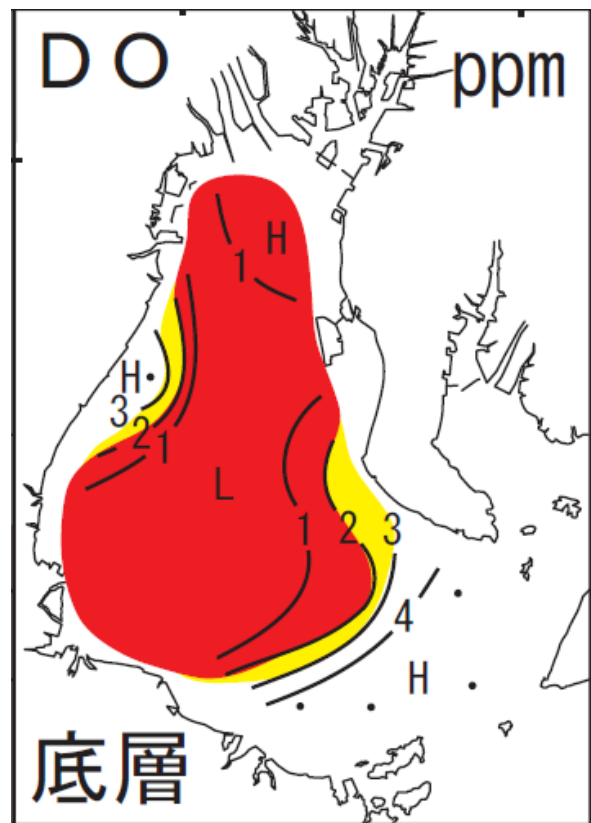
9 月 9 日の調査結果

9 月 9 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 25.9～27.7℃、10m で 25.1～27.0℃、底層で 21.2～26.3℃ の範囲にあり、表層と底層は平年よりやや高め、10m では高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.8～8.2ppm、10m で 2.6～6.4ppm、底層で 0.1～5.0ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m で平年並、底層では平年並からやや低めとなっていました。

底層では湾口部を除く広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されています。

表層と底層の水温差は小さくなってきていますが、まだ海水の上下混合が起こりにくい環境にあり、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図